

## 計量制度の在り方について

経済産業省では、計量法を適切に執行するに当たり、現在の計量行政における実態を踏まえ、計量制度の必要な改善点等を明確にし、計量制度に関する課題を整理すべく、「計量制度に関する課題検討会」を開催し、今後あるべき計量行政の基本的方向を見据えた計量制度の見直しについて検討を行い、そこで、計量制度に関する課題が取り上げられ、計量審議会において、計量法の改訂に関わる論議がなされております。計量界で尊敬する先輩の言葉が思い出されます。

“こうした事でいつも思う事があります。計量に関して計量関係者と計量を日常の業務としない技術者及び一般の人等々の計量に関する理解と認識に大きな格差がある事です。”

計量が果たしている役割、確かな計量の為に日常的に行われている校正・検査等又それらの基となる計量標準の存在と維持管理及び活用等々計量に関わる“もの”、“人”、“サービス”等々のコストへの理解及び認識には特に、大きな隔たりがあると感じております。

計量は、不断の努力の管理の基で維持される制度であるという事であり、実態はほとんど知られていない事に愕然となります。

思えば、計量は身近な存在であり、大切であることは誰でも承知しており、その制度の安定をだれも疑う者はいないと思います。

社会の変化とともに計量の在り方も・・・特に計量規制に関わる環境は大きく変化してきております。

安心安全の基となる重要なインフラ基盤ではありますが、日常の中では見えない空気のような存在であります。その大事さが判っている関係者の多くは使命感を持って確かな計量の確保の為に努力しておりますが、一方では、別世界で閉じこもってしまう事にもなっている事にも課題があるのかもしれませんが。結果、計量は世間からは閉じた世界で議論を進めてしまうという懸念もあるかと思えます。

何よりも、我々計量関係者の使命として、あらゆる機会を捉え、計量に関わる知識・情報を広く国民に提供するように工夫し、努力する必要があるかと思えます。

計量制度に関する課題が取り上げられ、議論される機会を捉え、適確な情報開示及び提供と啓蒙を重ねていく事も必要かと考えております。計量には地道な継続的な活動が重要であります。そこで、(一社)群馬県計量協会では、提供された情報、審議過程当公開された情報を Web サイトでも掲示しております。

地域の計量協会のこうした基盤整備に資する活動についても、皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

平成28年6月8日

(一社)群馬県計量協会 会長 横田 貞一